

京丹後の「光」をつなぐ



丹後半島に語り継がれる
先人の息遣いが感じられるまち
～輝きの古代から煌めきの未来へ～

「光」、「文化財」ってなに？

「光」とは、京丹後市らしさを生み出す歴史文化や文化財、これまで地域で育んできた暮らしの知恵や息遣いなどのことです。

「文化財」は、原則 50 年以上経過した歴史的・自然的・文化的な資産で、「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」、「伝統的建造物群」の大きく 6 つの種類に分けられます。京丹後市では、6000 件以上の文化財を把握しています。

京丹後市の指定等文化財※は
281 件あります！

		国		
		指定	登録	選択
有形文化財	建造物	3	13	
	美術工芸品	5		
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	
	無形の民俗文化財	0	0	1
記念物	遺跡（史跡）	5		
	名勝地（名勝）	1		
	動物・植物・地質鉱物（天然記念物）	2	0	
文化的景観				
文化財環境保全地区				
合計		16	13	1

文化財環境保全地区は、京都府独自の制度です。
指定等文化財とその周辺環境を一体として
保存していくために設定される地区をいいます。

例：竹野神社文化財環境保全地区

有形文化財

建造物

寺院建築（本堂・門・棟・鐘楼等）、神社建築（本殿・拝殿・舞台等）、住宅（丹後型民家・町家等）、石造物（宝篋印塔・五輪塔・地蔵・鳥居等）、近代建築物（復興建築・防弾庫等）、土木構造物（橋・トンネル等）



稲葉家住宅（国登録）



本願寺本堂（重要文化財）

美術工芸品

絵画（仏画・障壁画等）、彫刻（仏像・神像・狛犬）、工芸品（鰐口・扁額等）、書籍・典籍（大般若経等）、古文書（区有文書・行政文書等）、歴史資料、考古資料（土器・石器・鏡・ガラス玉等）



円頓寺木造薬師如来及び両脇侍像（円頓寺所蔵、重要文化財）



湯舟坂 2 号墳出土品（重要文化財）
（奈良文化財研究所栗山雅夫氏撮影）

無形文化財

京丹後市では、丹後ちりめんの技術と文化を、無形文化財として把握しています。



丹後ちりめん

日本遺産にも！

300 年を紡ぐ絹が織り成す 丹後ちりめん回廊

2017 年、宮津市・与謝野町・伊根町とともに、日本遺産に認定されました。市内では、網野神社や丹後ばらずし、丹後ちりめん小唄、丹後織物工業組合中央加工場等が構成文化財となっています。



伝統的建造物群

歴史的な町並みを形成する伝統的な建造物（民家等）の集まりのことです。

本市には、農村集落、漁村集落等の建物群があります。



漁村集落

民俗文化財

有形の民俗文化財

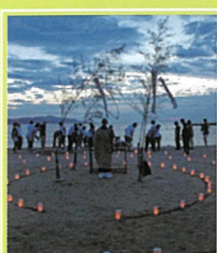
民具類（衣類・漁撈道具・養蚕の道具・織機・林業の道具・食器類・家具等）、信仰関係の資料（堂や祠・奉納和船・舞台・祭りの道具等）



溝谷神社奉納和船（溝谷神社所蔵、市指定）

無形の民俗文化財

民俗芸能（笹ばやし・三番叟・獅子神楽・太刀振り等）、祭礼・行事（だんじり・太鼓台・夏祭り・奉納相撲等）、年中行事（家の行事・村の行事・講・地蔵盆等）、食文化（保存食・祭事食・郷土料理等）、伝承・説話・民謡・方言等



浜施餓鬼



河梨の十二灯（府登録）



丹後ばらずし



布袋野の三番叟（府登録）

※文化財保護法や条例に基づき
指定・登録等が行われている文化財

府					市	合計
指定	登録	選定	暫定登録	決定	指定	
5	5		52		12	90
17	9		18		60	109
0	0		3		1	4
3	11				3	18
7	0		0		17	29
2	0		0		4	7
2	1		0		12	17
		2				2
				3	2	5
36	26	2	73	3	111	281

令和 5 年 2 月現在

記念物

遺跡

集落遺跡、古墳（前方後円墳・群集墳等）、生産遺跡（窯跡・木製品製作跡・鉄器工房等）、寺院跡、中世以降の墓、城跡、災害記念碑・供養塔、伝承地等

名勝地

公園・庭園、砂丘・海、山、峡谷・滝、岩石、湖、展望地点等



神明山古墳（国指定）

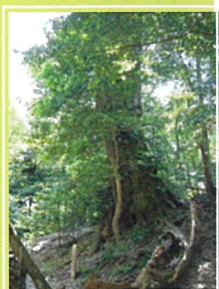


霧降りの滝（市指定）

動物の生息地、名木・巨樹、巨木林、地形・地層、化石、温泉、海岸地形等



袖志の棚田



若宮神社のスタジイ（市指定）

世界ジオパークにも！

山陰海岸ジオパーク～日本海形成に伴う
多様な地形・地質・風土と人々の暮らし～

2010 年、山陰海岸沿いの兵庫県 3 町、鳥取県 2 市町とともに、ユネスコの世界ジオパークに認定されました。地域のジオツーリズムを通じた自然遺産の保全と地域活性化につながる活動を展開しています。



山陰海岸ジオパーク

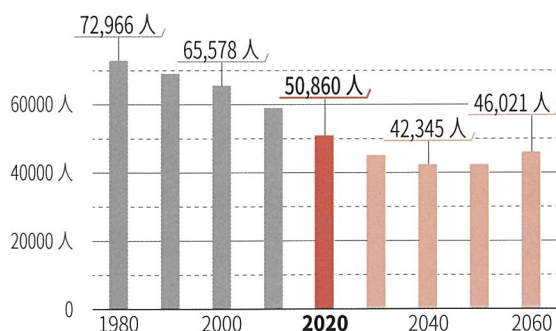
文化的景観



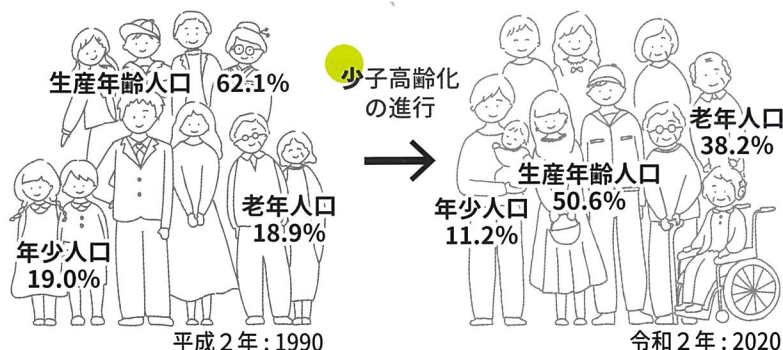
久美浜湾沿岸の商家建築群と街なみ景観（府選定）

人々の生活・生業と地域の風土が一体となって形成された景観地のことです。本市には、海の生活・生業に関する景観や、内陸部の農業景観、伝統産業にまつわる景観等があります。

いま、「光」の継承が難しい？



京丹後市の人口は減少を続けており、2040 年には約 4 万人にまで減少すると想定されています。また、世帯当たりの人数は、3.5 人（1990）から 2.5 人（2020）と減少し核家族や一人世帯が増加しています。



生業・働く環境の変化

地域コミュニティの変化

文化財を担う人が不足している……
将来の担い手が育ちにくい……
資金確保が難しい……

+

地震や風水害の発生

盗難や犯罪等の犯罪の脅威

感染症の流行による祭礼・行事の中止、観光客の減少

地域計画による取組みのもと、
地域一丸となって、
「光」をつないでいきましょう

京丹後市文化財保存活用地域計画は、行政だけでなく、市民の皆さん、企業・団体、学生や専門家、出身者・来訪者等がともに取り組む計画です。

一人ひとりが身の回りの歴史文化を知り、学び、考え、保存や活用に取り組むことで、地域総がかりで京丹後市の「光」を未来に繋ぎましょう。

計画期間：令和 5～9 年度（5 年間）



丹後半島における多彩な交流・交易、 人々の暮らしが生み出した歴史文化

4つの歴史文化の特徴と
11のストーリー

地球の営みが生んだ 半島の景観と恵み

日本海形成に伴う地殻変動が生み出した丹後半島の特異な海や山の景観や、地熱を利用した温泉や砂丘などで生み出される作物などの様々な恵みが受け継がれています。こうした特徴的な地形や地質等はユネスコ世界ジオパークに認定され、地域の持続可能な発展に向けたジオサイトの保全と活用の取り組みが行なわれています。

主な文化財

- ・袖志の棚田
- ・立岩 ・屏風岩
- ・経ヶ岬 ・碓高原
- ・琴引浜 ・離湖
- ・久美浜湾 ・温泉
- ・製鉄遺跡



琴引浜のガイド活動の様子

半島に展開する海・里・山の生業

海岸に展開する漁村集落や平野部の農村集落、ブナ林に支えられた山村集落の暮らしや生業等、先人の息づかいが暮らしの中で引継がれています。



旧田上弥之祐家住宅

主な文化財

- ・漁村集落 ・漁法
- ・漁港 ・農村集落
- ・山村集落 ・酒造
- ・丹後型民家
- ・ブナ林 ・農産物
- ・海産物

災害の歴史と記憶を伝える

近現代史の画期をなす丹後震災からの復興過程、震災の記憶継承、戦争の記憶や豪雪被害などの歴史と記憶を伝える文化財が継承されています。

主な文化財

- ・丹後震災記念館 ・震災記念碑
- ・旧口大野役場庁舎 ・震災復興橋
- ・郷村断層 ・廃村に関する碑
- ・河辺飛行場跡、格納庫等
- ・近代行政文書



伊藤快彦作の震災画

地

球の胎動がもたらす恵みと脅威

「丹後王国」の成立から興隆

門脇禎二が提唱した「丹後王国」を物語る巨大な古墳や壮大な遺跡、それらから発見された土器や鉄器、鏡等の豊富な出土品は、日本海の玄関口にあたる本市と国内外の交流・交易の歴史を伝えます。

主な文化財

- ・竹野遺跡
- ・扇谷遺跡
- ・赤坂今井墳墓
- ・網野銚子山古墳
- ・神明山古墳
- ・離湖古墳
- ・湯舟坂2号墳
- ・遺跡からの出土品



赤坂今井墳墓の頭飾り

半島に語り継がれた豊かな伝説・伝承

羽衣天女、乙姫、間人皇后、川上摩須郎女、小野小町、静御前、細川ガラシャ夫人の7人の女性にまつわる伝承、麻呂子親王の鬼退治伝承など、多様な伝説・伝承が本市の風景を魅力的に彩っています。

主な文化財

- ・奈具神社 ・女池
- ・釣溜 ・嶋児神社
- ・間人皇后足洗いの井戸
- ・川上摩須屋敷跡
- ・妙性寺 ・小野小町墓
- ・腰かがみ岩 ・静神社
- ・細川ガラシャ夫人隠棲地
- ・紙本著色等楽寺縁起



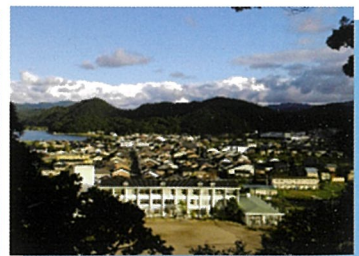
磯砂山

「一色領国」から「海の代官所」へ

丹後守護として君臨した一色氏による支配、京極氏による峰山藩の統治、「海の代官所」ともいえる久美浜の代官所設置による興隆など中世から近世にかけた統治・興隆の歴史が今も色濃く残っています。

主な文化財

- ・丹哥府志原本 ・下岡城跡
- ・吉沢城跡 ・長尾城跡
- ・溝谷神社奉納和船
- ・稲葉家住宅 ・太刀宮文書
- ・久美浜代官所跡
- ・峰山陣屋跡 ・京極家墓所



松倉城跡から久美浜の街なみを望む

日

本海の玄関口での交流・交易

「気張る」丹後人の気質と ものづくりのふるさと

丹後の「うらにし」気候は勤勉・実直な「気張る」丹後人気質を生み出し、松本重太郎等の企業家を輩出しました。また、丹後のものづくりの歴史は古代にまでさかのぼり様々な匠の技を見ることができます。こうした伝統や気質は、現在の機械・金属産業に受け継がれています。

主な文化財

- ・遠慮遺跡製鉄工房跡
- ・奥山たたら製鉄遺跡
- ・阿婆田窯跡
- ・古殿遺跡、案（木製机）
- ・扇谷遺跡
- ・松本重太郎翁像



松本重太郎ギャラリー

「丹後ちりめん」をめぐる人と技

本市には織物業にまつわる弥生時代以来の歴史文化が色濃く残っています。現在の丹後ちりめんは江戸時代に絹屋佐平治がはじめたとされ、その技は現在も受け継がれ発展を続けながら独特の歴史文化を紡ぎだしています。

主な文化財

- ・カジャ古墳出土遺物
- ・縄の碑 ・禅定寺
- ・絹屋佐平治関係資料
- ・金刀比羅神社秋祭り
- ・石造狛猫 ・吉村家住宅
- ・綿縮緬始祖蒲田翁碑
- ・機屋の町並み



丹後ちりめん

花開いた仏教文化

絵画や彫刻などの多様な仏教美術、寺院建築、市内各地に残る自然石板碑やお地藏さん、経塚や五輪塔など、中世以来の人々の祈りが感じ取れる豊かな仏教文化が花開いています。

主な文化財

- ・仏像 ・仏画
- ・宝篋印塔 ・五輪塔
- ・経塚 ・経筒
- ・立石大逆修塔
- ・寺院 ・お地藏さん
- ・宗雲寺庭園



緑城寺本堂と宝篋印塔

暮らしを彩る祭礼・芸能

市内では、田楽や踊子など中世以前に起源をもつ多様な民俗芸能が今も伝えられています。また、各地区では春夏秋冬の季節毎の祭礼や芸能が今も継承されています。

主な文化財

- ・田楽 ・踊子
- ・三番叟 ・菖蒲田植
- ・水無月祭 ・浜施餓鬼
- ・笹ばやし ・獅子神楽
- ・秋祭り ・太鼓神輿
- ・鬼祭り ・祭具
- ・民具 ・区有文書



丹波の芝むくり

半島と共に生きる食の知恵

本市では、古代から風土に根差した豊かな食文化が展開されてきました。保存食や行事食など、現代に受け継がれた食の知恵は、長寿のまちづくりへと繋がるとともに、重要な観光資源ともなっています。

主な文化財

- ・浜詰遺跡 ・平遺跡
- ・献米記念碑 ・古代米
- ・けんちゃん煮
- ・わかめのパー
- ・うどん皿 ・うどん文化
- ・丹後のばらずし
- ・もち花のあられ
- ・あごの団子汁



郷土食レシピ

日本のふるさと丹後 ～可能性に満ち溢れた丹後の歴史文化

「丹後王国」とも呼ばれる古代丹後の歴史文化は多くの人々のロマンをかきたて、心惹かれるものです。日本のふるさと丹後の姿を想像させるいくつかのトピックを紹介します。

- ・丹後は豊受大神とのつながりの深い地域であり、峰山町二箇には稲作発祥の地と伝える「月の輪田」がある。
- ・売布神社は、垂仁天皇の命で橘を持ち帰った田道間守命ゆかりの神社と伝えられる。橘は「キツ」とよむことからこの地は「木津」という地名となったという。
- ・古墳時代には日本最古級の製鉄コンビナートが営まれ、それらは現代の機械・金属業の源流ともいえる。

将来像

20 年後のまちの姿

基本目標

おおむね今後 10 年間で
実現する目標

基本方針

取組みの方向性

丹後半島に語り継がれる先人の息づかいが感じられるまち
く輝きの古代から煌めきの未来へく

調査・研究 RESEARCH

丹後半島の「光」を
自らみつけ、つなぐべき
価値を明らかにする

基本方針 1

計画的に
調査・研究を進め、
成果を共有する

保存・管理 PRESERVE

地域の風景の中に
生きる「光」を
確実に後世につなぐ

基本方針 2

保護の対象を広げ、
適切な管理のための
環境を整える

活用 UTILIZE

多彩な「光」を活かして
京丹後の魅力に
磨きをかける

基本方針 3

魅力を発信し、
多様な分野と連携して
活用する

人づくり CULTIVATE

京丹後の「光」を
誇りに思い、語り伝える
人を地域で育てる

基本方針 4

普及啓発の推進により、
歴史文化の
担い手を育てる

体制づくり ORGANIZE

「光」を未来に
つなぐための持続可能な
体制を構築する

基本方針 5

持続的に
文化財を継承する
体制を検討する

20 年後

10 年後

各基本目標の実現に向けて、
5つの分野ごとに
取組みを展開します。

+

4-5 ページで紹介した 11 のストーリーごとに、
それぞれを構成する文化財群を「関連文化財群」と設定し、
戦略的にまちづくりに活用していきます。

具体的な取り組みの例

●文化財に関する計画的な把握調査の実施

大学等の研究機関や活動
団体、市民の皆さんと協
働して文化財の把握調査
を進めます。特に、山林
寺院や祭り・行事、お堂・
祠等の調査に優先的に取
り組みます。



市内各地に残る堂

●調査成果の保存・管理等の推進

これまでの調査成果を整理し、活用します。また、絵画・
彫刻・工芸品・古文書などについては、3D スキャンや写
真撮影などによるデジタル化を推進します。

●祭礼・民俗芸能の把握調査及び映像記録の作成

休止したものも含めて、市内の民俗芸能の現状把握と映像・
写真による記録保存を推進します。

RESEARCH

●文化財指定等の推進

未指定の文化財のうち、重要なものについて文化財保護法や
条例に基づく新規指定・登録等に向けた取組みを推進します。

●「(仮称) 京丹後市文化財保護基金」の設立の検討

安定的に文化財の保護に関する財源を確保するため、ふる
さと応援基金（ふるさと納税制度）等を活用し、文化財保
護に活用できる基金の設立を検討します。

●久美浜の歴史的町並みの整備・保全

行政と市民が協働し
て、稲葉本家を中心と
した久美浜一区の歴史
的町並みの保全と活用
を進めます。また、マッ
プの作成、まち歩き観
光等を推進します。



久美浜の町並み

PRESERVE

●特別展示や

企画展示の開催

京丹後市立古代の里資
料館等で、市の歴史文
化を紹介する特別展示
や企画展示を定期的に
開催します。



過去の展覧会

●文化財をテーマとしたエコツーリズム・教育旅行の推進

「フードツーリズム」、「ジオツーリズム」、「産業ツーリズム」、「ヘル
スツーリズム」等、本市の文化財を活かした多様なツーリズムを
展開します。また、「教育旅行」の誘致を推進します。

●文化財のユニバーサルデザイン化の推進

より多くの人が文化財を身近に感じられるような、看板の整備や、
史跡や資料館等のバリアフリー化を推進します。

UTILIZE

●「丹後学」と

連携した歴史文化学習

保幼小中一貫教育で実施され
る「丹後学」のモデルカリキュ
ラムに京丹後市の歴史文化を
組み込み、児童・生徒の郷土
愛の育成につなげます。



中学校の社会科副読本

●「(仮称) 地域史料講座」「(仮称) ガイド養成講座」の実施

「京丹後博士」育成講座を改編し、石造物や民俗行事等の地域
史料を読み解ける人材の育成を進めます。また、市民団体と連
携し、ガイドの育成講座を開催します。

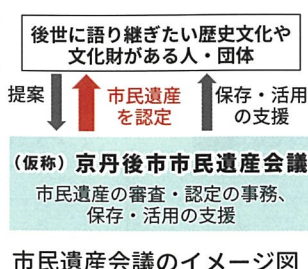
●食文化伝承推進事業

地域の伝統的な食文化への理解を深め、本市に伝わる食文化を
伝承していくため、小学校、中学校の児童・生徒を対象に郷土
食の調理指導等を行ないます。

CULTIVATE

●「(仮称) 京丹後市市民遺産会議」の発足

市民が後世に語り継ぎた
いと思う歴史文化や文化
財等を「(仮称) 京丹後市
市民遺産」として市民が
提案し、認定する取組み
を検討するとともに、市
民遺産会議を発足します。



●文化財保存活用地域計画推進協議会の設置・運営

京丹後市文化財保存活用地域計画を地域一体となって着
実に推進するため、推進協議会を設置・運営します。

●「新たな地域コミュニティ組織」との連携

現在組織化が進められている「新たな地域コミュ
ニティ組織」との連携を強化し、祭礼・行事等の
身近な文化財の継承と、地域活性化に繋げます。

ORGANIZE

京丹後市の「光」を守り、活かし、未来へつなぐために何をすれば良い？

現在

もしもの時にそなえて ～文化財の防災・防犯～

京丹後市では、昭和2年(1927)に発生した丹後地震(丹後震災)や昭和38年(1963)の三八豪雪など甚大な自然災害を体験してきました。また、近年は大規模な地震や風水害などが頻繁に発生し、そのたびに多くの文化財が滅失やき損の危機にさらされています。市内の文化財をこうした危機から着実に守るため、次の4つの方針に基づき、防災・防犯を進めます。

1. 災害の歴史に学ぶ

災害の歴史を学び、その知恵を安全・安心な暮らしに活かします。

2. 文化財周辺の防災・防犯対策を実施し、災害時や盗難時に備える

自動火災報知設備や防犯カメラなどの機器類の整備を推進するとともに、日常の点検を的確に行います。また、文化財のデジタル化等を進め、災害時や盗難時に備えます。

3. 災害発生時の対応を明確にする

文化財に関する情報や災害発生時の対応について共有し、災害発生時に適切に文化財を守る体制を整えます。また、文化財ハザードマップ等の整備も検討します。

4. 多様な主体が協働で文化財の定期的な見守りを進める

地域一丸となって文化財の定期的な見回りを行う体制を整えます。

具体的な取り組みの例

丹後震災100周年の取り組み

令和9年3月に丹後震災100周年を迎えるにあたって、郷村断層の保存活用計画の策定、郷村断層生野内地区保存施設の覆屋の改修等に取り組めます。

防災教育の推進

災害の記憶を示す写真や資料、復興建築等を活用しながら、自然災害の脅威から身を守るための防災教育を推進します。

「文化財防火運動」の実施

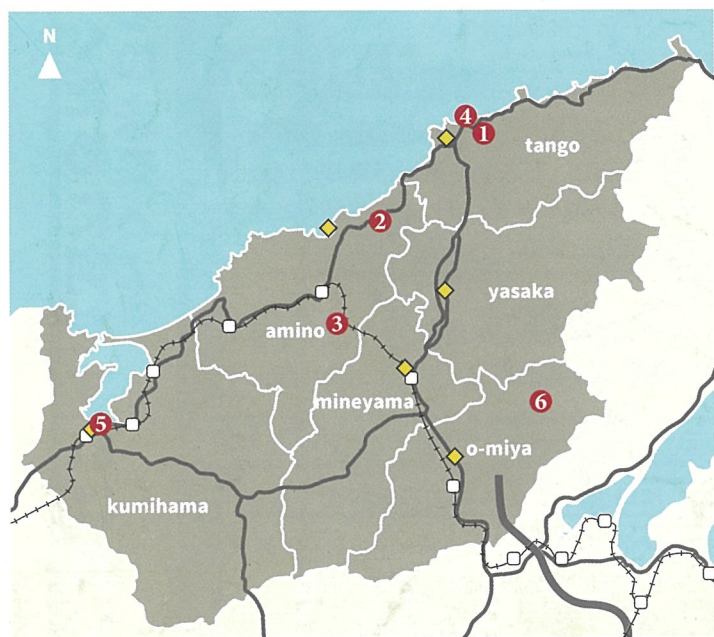
1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、文化財防火訓練や立入検査を実施、市広報等による啓発を行います。

京丹後の歴史文化が学べる施設

◆各図書館・図書室にも歴史文化を学べる

図書・資料などを収蔵しています。

峰山図書館	:	峰山地域公民館 3階
あみの図書館	:	「ら・ぼーと」2階
大宮図書室	:	アグリセンター大宮 1階
丹後図書室	:	丹後庁舎 3階
弥栄図書室	:	弥栄地域公民館 1階
久美浜図書室	:	久美浜庁舎 1階
※時間:10:00~18:00(峰山・あみのは水曜19:00まで)		
※休み:月曜、年末年始		



文化財・歴史文化に関する各種ご相談は文化財保護課まで

※令和5年4月1日より課名が文化財保存活用課に変わります。

電話番号:0772-69-0640

場所:大宮庁舎4階



住所:京丹後市丹後町宮108
時間:9:30~16:00
休み:火曜、年末年始

京丹後市立
丹後古代の里資料館



住所:京丹後市網野町掛津1250
時間:9:00~17:00
休み:火曜、年末年始

琴引浜
鳴き砂文化館



住所:京丹後市網野町郷55
時間:9:30~16:00
休み:令和5年3月31日まで
月・水・金・日曜、年末年始
令和5年4月1日から
火・水・金・日曜、年末年始

京丹後市立
郷土資料館



住所:京丹後市丹後町竹野313-1
(道の駅てんぎてんき丹後内)
時間:9:00~17:30(季節により異なる)
休み:第2・4火曜(季節により異なる)
年末年始

山陰海岸ジオパーク
京丹後市情報センター



住所:京丹後市久美浜町3102
時間:9:00~16:00
休み:水曜、年末年始

豪商稲葉本家



住所:京丹後市大宮町五十河302
時間:9:00~16:00
休み:水曜、年末年始

小町公園
「小町の舎」